

11月12日（木）6年生を対象に、助産師さんをお招きし、思春期教室が行われました。その内容を紹介します。（ほけんだより11月号より抜粋）



<命について>

命は1人に1つ。そして、命のもとになるものは2つ。

精子；寿命は3～7日で、一生作り出すことができる。

卵子；寿命は24時間で、生まれたときに卵子のもとを200万個位持っている。

そして、年齢とともに少なくなっていく、限りがある。

胎児：受精卵は紙に針を刺した穴位の大きさで、

10か月経つと体重3kg 身長50cm位になる。



へその緒から栄養をもらうが、たばこを吸うとへその緒が太く
なれず大きくなれない。周りに吸う人がいると同じになる。



1度吸うとやめられなくなるらしいけど、みんなには吸ってほしくないな。

<赤ちゃん模型の抱っこ体験> “横抱っこ”と“たて抱っこ”の仕方を教わりました。



少し揺れてあげてね。

本当の赤ちゃんは柔らかくていいにおいがするよ。

（抱っこの様子は

ホームページの第6学年に掲載されています。）

たて抱っこは喜ぶよ。

<人の体について>

無駄なところは1つもない。すべてが大切で、あなた自身のものである。

その中でも大切なプライベートゾーン（胸・性器・お尻）命にかかわる大切な場所
口を加えて、プライベートパーツといい、大切に守ってほしい。



「お金を出すから…」 「写真を送ってほしい。」はだめ。触らせてもだめ。

<思春期について> 心も体も大人になっていく時期である。

個人差があり、明日起こるかもしれない。でも、それは順調に成長している証である。

心の変化も大きいけれど、ホルモンのバランスによるものである。

自分を好きな時と、 自信が持てない時と、

自分がよくわからない時と、 悩みがいっぱいの時と…



どんな時も自分のことを嫌いにならないで ♡



性に関する問題は、遠慮なく周りにいる大人に相談する。

だって、思春期を乗り越えて大人になっているのだから。

<命のつながりについて>

絵本）作：草場一寿 絵：平安座資尚 「いのちのまつり」が紹介されました。

命は自分だけのものではなく、いろいろな人に支えられていて、あなたは大切な人です。